

平成 15 年 12 月 2 日

事前対策に勝る勝利なし！

「池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会」設立大会開催

本日 2 日（火）、豊島公会堂（東池袋 1-19-1）で、「池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会」設立大会が開催された。主催：池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会 共催：豊島区、池袋警察署、（財）暴力団追放運動推進都民センター

近年、暴力団や国際犯罪組織は、資金源犯罪等を繰り返し、わが国の治安に著しい悪影響を及ぼしている。犯罪の質と量の変化による治安の悪化は、繁華街池袋を抱える豊島区でも大きな問題となっており、とりわけ池袋駅周辺の繁華街は、これら資金源犯罪の温床となっているほか、各種事犯が惹起されるなど、治安の悪化が危惧されている。このため、豊島区池袋署管内の事業者団体をはじめ地域住民、関係機関等が結束してこの種の犯罪を防圧するとともに、平穏な繁華街として更なる発展を目指すべく、池袋駅東口地区、西口地区を主体に約 60 団体で構成される「池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会」を設立、今日の設立大会に約 600 人が集まった。

治安回復が都市問題の中でも最重要課題とされる現在、豊島区では他区に先駆け、平成 12 年 11 月に「生活安全条例」を制定、安心して買い物のできる街にしよう、地域住民との協働により、繁華街の夜間パトロールなどに取り組んできた。特に繁華街池袋を抱える豊島区では、違法な風俗産業等、暴力団による犯罪が目立っていたが、近年は、暴力団によるヤミ金問題や不法滞在外国人の増加に伴う犯罪など、これまでの犯罪とは性質の違う新たな犯罪のケースも見られるようになってきた。また東京都においても、治安対策の一環として、竹花副知事を本部長とする「東京都緊急治安対策本部」を設置、都内有数の繁華街を有する豊島・新宿・渋谷の各区との連携を打ち出し、不法滞在の外国人等による犯罪対策や取り締まりの徹底が打ち出されている。こうした治安回復への気運が高まるなか、国際犯罪組織も視野に入れた組織犯罪に対抗していくため、警察など関係機関や地域との連携を強化、本協議会の設立する運びとなった。

午後 3 時 30 分から開かれた大会では、池袋防犯協会長、池袋警察署長、豊島区長などが「豊島区には大学や素晴らしい劇場、西口公園では楽しい催しがあり、文化あふれる明るい街です。その街を組織犯罪により、暗黒の街にしてはならない。」「組織犯罪は、生活ばかりでなく、社会経済をも蝕む。安心して安全な街にしていきたい。ルールを破っている人たちには、敢然と立ち向かって行かなくてはならない。」「このたびの協議会設置により、警察の取り締まりは強化される。豊島区を愛し、生まれ育った皆さんに積極的な活動をしてもらえれば、犯罪は根こそぎにできる」と次々とあいさつした。また、暴力団、闇金取り立てなどの相談を年 1700 件受けている暴追センター専務理事も、池袋署管内で受けた相談の事例を紹介し、「事前対策に勝る勝利なし」と防犯対策の重要性を力強く訴えた。

参加者たちはそれぞれ、地域の治安回復に対する決意を一層新たにされた様子だった。

詳細：池袋警察署組織犯罪対策課



組 織 犯 罪 根 絶 宣 言

私達「池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会」会員は、
本会の趣旨にのっとり

- 一 「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」
「暴力団を利用しない」の暴力団追放三ない
運動を実践する
- 一 「国際犯罪組織」を恐れずに対決姿勢を堅持し、
壊滅に追い込み根絶する
- 一 暴力団・国際犯罪組織による不当な要求は
断固拒否する
- 一 関係機関との緊密な連携のもと一致団結した
会員相互の協力態勢を確立する

以上のことを遵守し、暴力団・国際犯罪組織の介入
しない明るく健全な池袋の繁華街まちづくりのため、
組織犯罪根絶活動を推進することをここに宣言する。

平成 15 年 12 月 2 日

池袋署管内組織犯罪根絶対策協議会



警 視 庁 池 袋 警 察



(財)暴力団追放運動推進都民センター



豊

島

